

良夜

徳富蘆花

青空文庫

良夜れうやとは今宵こよひならむ。今宵は陰曆いんれき七月十五夜なり。月清つきよく、風涼かぜずし。

夜業やげうの筆さしおを擱しをりどあき、枝折戸しをりどあ開けて、十五六步ぼてい邸内ないを行けば、栗たいの**大木真黒まつくろに茂るほとり辺ほとり**

出いでぬ。其蔭そのかげに潜ひそめる井戸あり。涼気水れうきみづの如く闇あんちう中に浮動ふどうす。虫声ちうせい※々《じゞ》。時と

々き／＼、しろがねしろがねの雪しゆくのポタリと墜おつるは、誰たが水を汲たみて去いりしにや。

更ゆに行はきて畑はたけの中に佇たゝずむ。月は今彼方いまかなたの大竹藪おほだけやぶを離はれて、清光せいくわう溶々やう／＼として上じやうて

天ん下地かちを浸ひし、身は水中みづに立つの思おもひあり。星の光何ぞ薄うすき。氷川ひかわの森も淡あはくして煙けぶりと見み

ふめり。静かに立ちてあれば、吾側わがそばなる桑の葉とうもろこし、玉蜀黍とうもろこしの葉は、月光げつくわうを浴あびびて青あお

光かりに光り、棕櫚しゆろはさや／＼と月に囁ささやく。虫の音ねしげ滋しき草くさを踏ふめば、月影つきかげ爪つまさき先に散あ

り行く。露つゆのこぼるゝなり。藪あの辺あたりには頻しきりに鳥の声こゑす。月の明あかきに彼等あの得眠えねぶらぬな

るべし。

開ひらけたる所は月光げつくわうみづ水の如く流れ、樹下じゆかは月光げつくわうあを青あき雨あめの如ごとくに漏もりぬ。歩ほを返かへし

て、木蔭きかげを過すぐるに、灯火ともしびのかけ木の間まを漏もれて、人の夜涼やれうに語かたるあり。

枝折戸しをりど閉とぢて、椽えんに踞きよす程ほどに、十時じゆも過すぎて、往來わうらい全まく絶つたへ、月は頭上かぶに來きたりぬ。一庭てい

の月影つきかげ夢ゆめよりも美びなり。

月は一庭の樹を照らし、樹は一庭の影を落し、影と光と黒白斑々として庭に満つ。
 椽に大なる楓の如き影あり、金剛纂の落せるなり。月光其滑らかなる葉の面に落ちて、
 葉は宛ながら碧玉の扇と照れるが、其上にまた黒き斑点ありてちら／＼躍れり。
 李樹の影の映れるなり。
 月より流るゝ風梢をわたる毎に、一庭の月光と樹影と相抱いて跳り、白揺らぎ黒
 さゞめきて、其中を歩するの身は、是れ無熱池の藻の間に遊ぶの魚にあらざるかを疑ふ。

青空文庫情報

底本：「日本の名随筆58 月」作品社

1987（昭和62）年8月25日第1刷発行

底本の親本：「自然と人生」岩波文庫、岩波書店

1933（昭和8）年5月

入力：土屋隆

校正：門田裕志

2006年9月21日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

良夜

徳富蘆花

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>